



学校教育目標 「生命(いのち)輝く子どもを育てる」  
 ー心はほかほか、学びはしっかり、体ははつらつー



# とひの かふち

《学校だより》 第10号

令和3年9月15日発行  
 湯河原町立湯河原小学校  
 校長 北村和裕

湯河原町では、9月12日(日)まで実施していた午前中日課の短縮授業の措置を9月26日(日)まで延長することとしました。新型コロナウイルスの感染症の広がりについてはまだまだ収束していない状況です。今後も、感染症対策については更なる緊張感を持って指導、支援していきます。保護者の皆様にはご負担をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解・ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

## マスクの着用

学校では、感染の拡大を防ぐために濃厚接触状態をつくらぬよう配慮しています。濃厚接触者とは、手で触れることができる距離(目安として1m)で、必要な感染予防策なしで、感染者と15分以上接触があった者とされています。必要な感染予防策として重要なのがマスクの着用です。給食を食べるとき以外は、なるべくマスクを着けた状態で過ごすようにして飛沫感染の予防に努めています。不織布のマスクが効果的だといわれています。

## タブレットの活用

今、全校で取り組んでいるのが、タブレットのミーティング機能を使ったオンライン通話です。離れたところでもカメラで画面に顔を映し出し、互いに会話ができるというものです。クラスによっては、登校を控えている児童と教室をつなげて、顔を見ながら話をしています。今後、臨時休業や学級閉鎖等があった場合にも備え、どの児童もこの機能を使えるように全校で取り組んでいるところです。



## 1年1組の担任について

1年1組担任の武松杏子教諭が産休のため13日から休暇に入りました。10月8日までは松見万里子総括教諭が代わりに担任を務めます。よろしくお願い致します。

## 「心はほかほか」な出来事

### わざわざ戻ってきて・・・

あるとき、給食を喫食せずに下校する児童を校門のところで見送っていました。「さようなら」と声をかけながら何人も通り過ぎていきますが、その中の一人が戻ってきました。何かあったのかなと思っていたら「暑いのにありがとうございます」と言ってくれました。確かにその日は天気がよく久しぶりに暑かったのですが、その言葉を聞いて、私の心の中もほかほかで熱くなっていました。

## コロナ禍の中での避難訓練

コロナ感染症の対策に追われているからといって地震が起きないわけではありません。いつ起こってもおかしくありません。ですから、避難訓練は予定通り10日(金)に実施しました。

今回は中休みに予告なしで緊急放送を流し、児童は素早く避難姿勢を取りました。ほとんどの児童が教室にいたので、机の下に潜りましたが、廊下にいた児童はその場で低い姿勢になり、手で頭を守っていました。とっさに的確な判断ができていて感心しました。



本来ならば、この後は運動場に避難することになりますが、全校が集まることを避け、各教室に戻りました。放送が入ってから避難姿勢をとるまでの行動を各学級で振り返ることにしたのです。

ある学級では、中休みの教室の様子をタブレットを使ってさりげなく録画していました。そして振り返りの時に、自分たちの避難する姿をその映像を見ながら良かったところや改善点を話し合っていました。



自分の身は自分で守ることが大切です。そのために訓練を真剣にやり、自分の行動を振り返ることによって次につなげ、本当の地震の時にも訓練通りに行動できるようにしてほしいと思います。

(その他、子どもたちの様子は学校のブログに掲載中)

<https://www.yusho.site/>